



1636年～1869年(約230年)

# 伊予西條藩を知る ①

(第一次西條藩)一柳家、(第二次西條藩)松平家



伊予西條藩は、1600年関ヶ原の戦功により伊勢国神戸藩を与えられた**一柳直盛**が、**1636年**に6万8600石で入部し**伊予西條藩**が成立した。初代藩主**一柳直盛**は、西條へ赴任の途中大坂で病没したため、その遺領は、長男**一柳直重**に西條**3万石**、次男**直家**に川之江**2万8600石**、三男**直頼**に伊予国小松藩**1万石**で分知された。2代藩主**一柳直重**は、入部すると西條陣屋を築造し西條城下町を開いて、西條藩政の基礎を築いた。直重の後を継いだ長男**一柳直興**は、諫言した家来への切腹の件、江戸への参勤の遅れ、京都女院御所の修理を断り、1664年大保木銀納事件などで**1665年**お家改易となり、一柳家は**3代30年**で断絶しました。その後、西條藩は天領となり**5年**の空白を経た**1670年**に**徳川御三家**の紀州和歌山藩初代藩主**徳川頼宣**(徳川家康の十男)の二男**松平頼純**が(徳川家康の孫)、紀州藩の支藩として新たに伊予西條藩**3万石**を与えられ、紀州徳川家(紀州藩主)が絶えた場合に備えた藩であった。第2代**松平頼致**は、紀州藩主**徳川吉宗**が将軍となったため紀州徳川家・紀州藩主を継いだ。西條松平家は、参勤交代を行わない定府の大名でした。以後、**10代松平頼英**まで続いた約**200年**間西條藩は連枝として特別待遇され、また紀州和歌山藩との交流も密接でした。

歴代藩主は江戸定府で参勤交代をすることがなかったため、藩主の入国はまれで生涯を通して領国に足を踏み入れない藩主もみられた。初代藩主**松平頼純**は、就封の年に初めて入国して以来、元禄**7年(1694)**、同**11年**、同**15年**、宝永**6年(1709)**の**5度**にわたって領国西條を訪れている。しかし、以後頼純のほか**2代頼致**、**3代頼渡**、その後西條藩主の入国はなく**106年**目の天保**6年(1835)**に**9代松平頼学**が入部すると8カ月滞在して領内を巡察しました。文久**3年(1863)****10代松平頼英**が西條に入部したが、家督を継いでわずか**5年**で大政奉還となった。**10代**およそ**200年**続いた松平氏封建藩政における最後の藩主となった。西條藩主の入国は、約**200年**間で僅か**9回**のみであった。

伊予西條藩・藩主一覧 | 1636年～1869年 | 233年間 | 松平家 西條葵 平隅切三葉葵

代	氏名 (ふりがな)	享年	出身家	在職期間	備考
第一次西條藩   一柳家(3代約30年)					
1	一柳 直盛 ひとつやなぎ なおもり	73	一柳家	1636年	(美濃国の武将・一柳直高の次男)
2	一柳 直重 ひとつやなぎ なおしげ	48	一柳家	1636年-1645年	(西條藩主一柳直盛の長男) 陣屋・城下町
3	一柳 直興 ひとつやなぎ なおあき	79	一柳家	1645年-1665年	(西條藩主一柳直重の長男) 一柳家の改易
幕府領(天領)となった、5年間の空白 ※地名・明屋敷の起源					
第二次西條藩 松平家(徳川御三家・紀州徳川分家) 10代約200年) ※西條藩は、江戸定府であった。					
1	松平 頼純 まつだいら よしむ	71	紀州徳川家	1670年-1711年	(紀伊国紀州藩初代藩主徳川頼宣の次男)
2	松平 頼致 まつだいら よしし	76	西條松平家	1711年-1716年	紀州藩 6代藩主   徳川宗直
3	松平 頼渡 まつだいら よしたけ	33	西條松平家	1716年-1738年	(初代西條藩主松平頼純の5男)
4	松平 頼邑 まつだいら よしむら	50	西條松平家	1738年-1753年	(3代西條藩主松平頼渡の長男) 病弱
5	松平 頼淳 まつだいら よしあつ	62	紀州徳川家	1753年-1775年	紀州藩 9代藩主   徳川治貞
6	松平 頼謙 まつだいら よしかた	52	紀州徳川家	1775年-1795年	(紀伊国紀州藩 7代藩主の6男)
7	松平 頼看 まつだいら よしみ	24	西條松平家	1795年-1797年	(6代西條藩主松平頼謙の長男)
8	松平 頼啓 まつだいら よしゆき	64	西條松平家	1797年-1832年	(6代西條藩主松平頼謙の3男)
9	松平 頼学 まつだいら よしと	58	西條松平家	1832年-1862年	(8代西條藩主松平頼啓の長男)西條誌編纂
10	松平 頼英 まつだいら よしひさ	63	西條松平家	1862年-1869年	(9代西條藩主松平頼学の5男)

※歴代伊予西條藩主の住居は、江戸の西條藩江戸上屋敷(現在青山学院大学)の4万坪であった。